

例会のお知らせ

10月の例会

降水機構およびレーダー気象

日時：昭和35年10月21日(金)13時30分より

場所：気象庁第1会議室

主題：集中豪雨に関するシンポジウム

第2部 講演題目(話題提供)

1. 佐々木良一(気象庁予報)：Broad scale から見た集中豪雨の予報の可能性
2. 杉浦 茂(気象庁予報)：Synoptic scale による集中豪雨の予報
3. 松野太郎(東京大学)：昭和32年諫早市周辺の集中豪雨の解析
4. 大塚 茂(東京管区)：レーダーエコー解析から見た東京の豪雨
5. 渡辺和夫(気研台風)：Line squall でない集中豪雨の2例

座長：石原健二(気象庁予報)

気象災害に関する講演会

場所：気象庁研修所東京教場

日時：10月28日(金)

1. 一般報告 9時30分より

- (1) 台風経路と県別被害高との関係について
奥田 穰(気象庁予報部)
- (2) 台風の風 渡辺 和夫(気象研究所)
- (3) 気象災害系研究における位相幾何学的研究
渡辺 次雄(気象庁研修所)
- (4) 中部日本における DDA~曲線と災害の規模について
正務 章
毛利 聡明(東京管区気象)
- (5) 災害の変化 肥沼 寛一(気象庁予報部)
- (6) 日本における可能最大風速について
高橋浩一郎(気象庁予報部)
- (7) 府県災害年表からみた過去の災害記録について
斎藤 鍊一(気象庁観測部)

(8) 台風防災効果の評価について

久米 庸孝(気象庁予報部)

2. 災害調査の問題点(シンポジウム) 午後一時より、
災害に関する各学会から話題提供者がでる予定

大気汚染

日時：昭和35年10月28日(金)13時より

場所：気象庁研修所教室**

主題：大気汚染一般

第2部 講演題目

1. 成瀬弘, 丸山晴久(気研応用)：新型サーマル・プレシピテーターの試作について(15分)
2. 浜 昊一(気研応用)：大気中に浮遊する海塩粒子の測定結果(10分)
3. 内山一郎(東京管区)：電気集塵器による採集塵と視程との関係(20分)
4. 伊東暈白(気研応用)：東京上空の大気汚染観測(15分)
5. 山路 勲, 森口 実(気研応用)：東京上空の浮遊粒子について(15分)
6. 太田芳夫(東京管区)：東京都内および東京タワーにおける視程(20分)
7. 鈴木義男(東航気)：東京国際空港の視程と大気汚染(20分)
8. 橋本梅治(東航気)：視程観測の研究(10分)
9. 三宅泰雄, 川村 清, 桜井澄子(気研化学)：大気亜硝酸濃度の日変化(20分)
10. 中野道雄(大阪管区)：大気煤塵濃度の変化について(15分)
11. 森口 実, 佐藤純次(気研応用)：東京で観測した浮遊煤塵濃度の変動について(15分)
12. 久保時夫, 箕輪年雄(横浜気)：下層大気汚染日変化について(第1報)(15分)
13. 角川正義(原研)：大気中放射能日変動の解析(20分)

11月例会予告

関東・中部地区気象研究会

(東京管区気象台と共催)

日時：昭和35年11月29日(火)および30日(水)9時より

場所：公立学校共済組合愛知宿泊所王山荘(名古屋市中種区覚王山通り8の17)

主題：気象一般

締切：昭和35年10月20日(必着のこと)

宛先：東京都千代田区大手町1の7

東京管区気象台 藤田兼吉

12月例会予告

気象電気

日時：昭和35年12月8日(木)10時より

場所：気象庁第1会議室

主題：気象電気一般

第2部 研究発表講演申込*

締切：昭和35年10月31日

宛先：東京都杉並区馬橋4丁目 気象研究所 三崎方郎

IGY シンポジウム

日時：昭和35年12月(日は未定)

場所：気象庁第1会議室

主題：IGY 関係一般

第2部 研究発表講演申込*

締切：昭和35年10月31日

宛先：東京都杉並区馬橋4丁目 気象研究所 武田 武

*第1部 一般研究発表 毎月の例会に行いますから講演題目、所要時間、

アブストラクトをつけて下記へ申込みたい。

宛先 東京都杉並区馬橋 気象研究所 今井一郎

**予告の場所を変更しましたら御注意下さい。

日本気象学会昭和35年度例会(第2部)および国際数値予報シンポジウム予定

昭和35年11月 国際数値予報シンポジウム(29頁参照)

関東・中部地区気象研究会

第7回風のシンポジウム(32頁参照)

12月 気象電気; IGY シンポジウム

昭和36年1月 気象輻射; 太陽活動; 気候

2月 観測と測器; 長期予報と統計

3月 航空気象